PL賠償責任加入済

フリーワンT

取扱説明書【保証書付・保存版】

主対象機種：TH型　IDN型　IDP-M型

この度はイトーキ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この説明書は、製品の使いかたと、ご使用上の注意を記載しています。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しい使いかたで末永くお使いください。
お読みになったあとも大切に保存し、わからない時にご再読ください。

⚠警告

ボルトやネジがゆるんだまま使わないでください。
商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

必ず2人で組み立ててください。
商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意

必ずプラスドライバーを使用してください。
マイナスドライバーを使用するとピンが折れてケガをすることがあります。

灯具の取り付けかた、灯具・コンセントの詳細に関しましては、灯具に同梱されております取扱説明書をご参照ください。

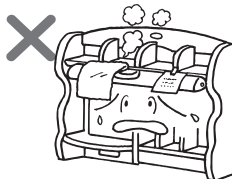
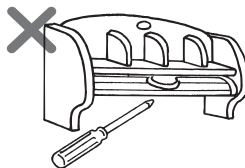
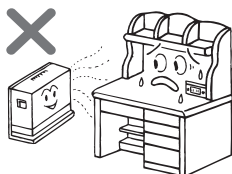
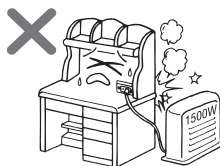
INDEX

⚠安全上のご注意

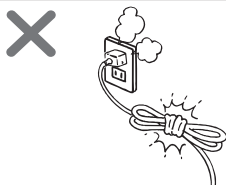
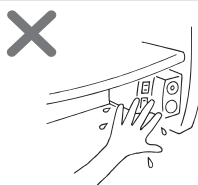
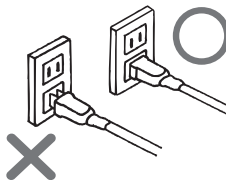
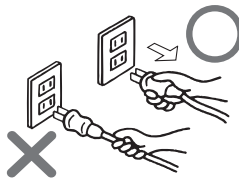
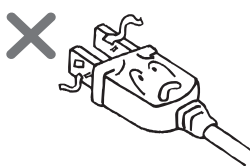
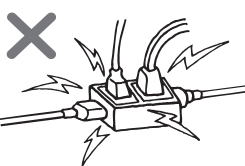
製品を安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

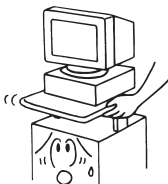
注意の種類の規定:JOIFA(社団法人日本オフィス家具協会)の規定に基づいて危険や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性が想定されるか、拡大物的損害のみの発生が想定される場合

⚠警告
紙や布などを灯具の上においたり、かぶせたり、ランプに密着させないでください。感電や火災の原因になります。

⚠警告
器具の改造や分解はしないでください。火災の原因になります。

⚠警告
火のそばで使わないでください。火災の原因になります。

⚠警告
コンセントに表示の容量以上の電気製品を接続しないでください。コードの加熱により火災の原因になります。(合計1400Wまで)

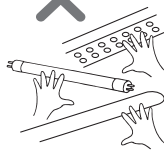
⚠警告
机をセットする時、机の下に電気コードをはさまないでください。火災の原因になります。

⚠警告
旅行等で長期間ご使用にならない時は、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

⚠警告
電気コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたまま使用しないでください。火災の原因になります。

⚠警告
コンセントの差し込み口に金属物を差し込んだり、ぬれた手で触らないでください。感電の原因になります。

⚠警告
コードプラグのコンセントへの差し込みは根元まで確実に行ってください。火災の原因になります。

⚠警告
電気コードを持ってコンセントから引き抜かないでください。コードの断線により火災の原因になります。

⚠警告
コードプラグの刃とその取付面にはホコリやゴミが付着しないよう清潔に保ってください。火災の原因になります。

⚠警告
タコ足配線は絶対にしないでください。火災の原因になります。

⚠警告
ワゴンの上にのったり、70kgを越える物をのせないでください。ワゴンの破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠警告
ワゴンの天板に物をのせている時はレバーを操作しないでください。天板が落下してケガをすることがあります。

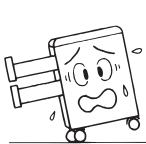
⚠警告
小さな部品の取扱いにご注意ください。お子様が飲みこむことがあります。

⚠警告
ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。商品の破損の原因になりケガをすることがあります。

⚠警告
廃棄するときは、許可を受けた業者か各自治体が実施している廃品回収を利用してください。樹脂製品を燃やすと有毒ガスが発生する恐れがあります。

⚠注意
点灯時および消灯直後はLED・ランプ・セード等には触らないでください。火傷の原因になります。

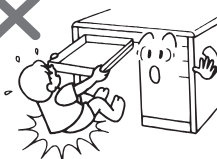
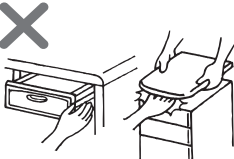
⚠注意
灯具の動く範囲以上に無理な力で動かさないでください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意
ホルマリン臭がするときは充分に換気してください。目が痛くなったり、肌の弱い人はアレルギーをおこすことがあります。

⚠注意
ワゴンに物をのせたまま移動させないでください。ワゴンの破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意
複数の引出しを同時に引出さないでください。ワゴンの転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意
書棚と机を離して使用する場合は、必ず転倒防止金具を使用してください。書棚の破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

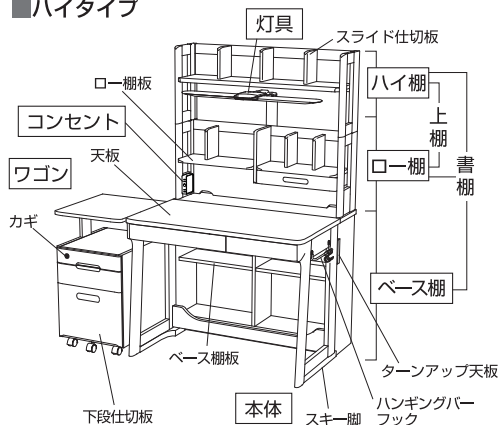
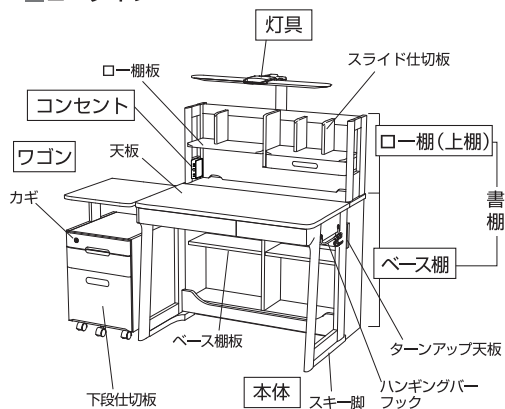
⚠注意
上棚にのったり、30kg以上の物をのせないでください。上棚の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

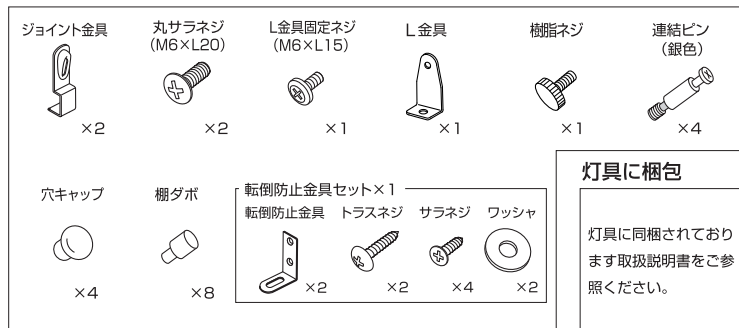
⚠注意
天板や引出しの上にのらないでください。商品の破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意
引出しを無理に引かないでください。ストッパーが破損して引出しが落下し、ケガをすることがあります。

⚠注意
可動部のすきまに指を入れないでください。はさんでケガをすることがあります。

⚠注意
机の移動は1人でしないでください。机の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

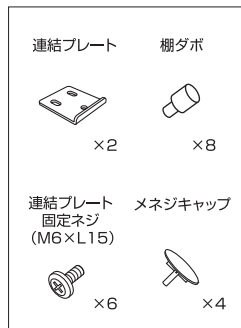
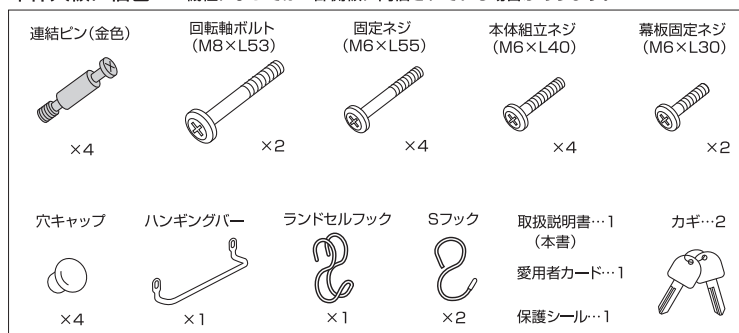
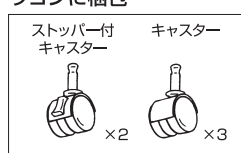
⚠注意
必ず2人で組み立ててください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

各部の名称

※イラストと現物は異なる場合があります。

付属品

上棚に梱包

灯具に梱包

灯具に同梱されております取扱説明書をご参照ください。

ベース棚に梱包

本体天板に梱包　※機種によっては一部側板に同梱されている場合があります。

ワゴンに梱包

選べるスタイル

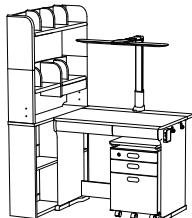
ライフスタイル、お部屋のレイアウトに合わせて組み替えてお使いいただけます。
※イラストと現物は異なる場合があります。

1 フロントスタイル

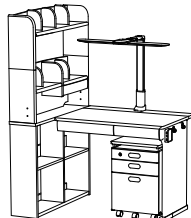
デスクの背面に書棚を配置した形

→P.6

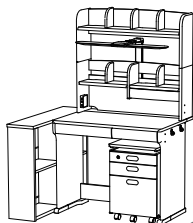
2-A ユニットスタイルA

デスクの横に書棚を配置した形

→P.7

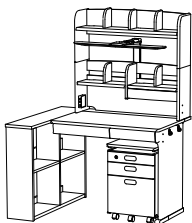
2-B ユニットスタイルB

側板を取り外したユニットスタイル

→P.10

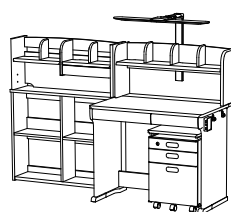
3-A L型スタイルA

天板をL型に設置した形

→P.8

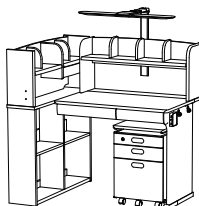
3-B L型スタイルB

側板を取り外したL型スタイル

→P.10

4-A カウンタースタイルA

1つの棚をデスクに設置した形

→P.9

4-B カウンタースタイルB

側板を外したカウンタースタイル

※このスタイルは、ハイタイプのみ組み換え可能です。

→P.11

5 セパレートスタイル

デスクと書棚を分離した形

→P.9

⚠注意 机と書棚は必ず連結して使用してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。
対象：フロントスタイル、ユニットスタイルB、L型スタイルB、カウンタースタイルB

⚠注意 書棚は部屋の真ん中には設置せず、壁や柱に転倒防止金具で固定してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。対象：ユニットスタイルA、カウンタースタイルA、セパレートスタイル

⚠注意 上棚は、机本体かベース棚に必ず連結してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。
対象:全スタイル

⚠注意 組み替えは、机の上、書棚に物の無い状態で、また、灯具、コンセントを取り外した状態で行ってください。

⚠注意 製品の移動は、引きずらないように、必ず2人で持ち上げて運んでください。床を傷つける原因となります。

⚠注意 上棚を机本体に設置する場合は、天板上で引きずらないように、必ず2人で持ち上げて設置してください。
天板を傷つける原因となります。

フロントスタイルの組み立てかた

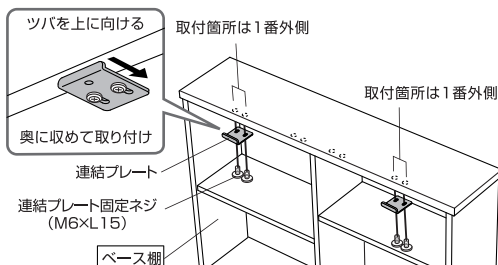
① 本体(単体)を組み立てる……………………………… 本体(単体)の組み立てかた→P.12

② ターンアップ天板を設定する……………………………… ターンアップ天板について→P.13

③ ハンギングバーを取り付ける……………………………… ハンギングバーの取り付けかた→P.12

④ ベース棚に棚板を取り付ける……………………………… 棚板･仕切板について→P.18

⑤ 連結プレートをベース棚に取り付ける

連結プレート(2ヶ)を連結プレート固定ネジ(4ヶ/M6×L15)で、ベース棚に取り付けてください。この時、ツバを上に向けて連結プレートを奥に収めた状態で取り付けてください。取付箇所は一番外側の左右2箇所です。

⑥ ベース棚に上棚を連結する ……………………………… 書棚の分割と連結→P.16

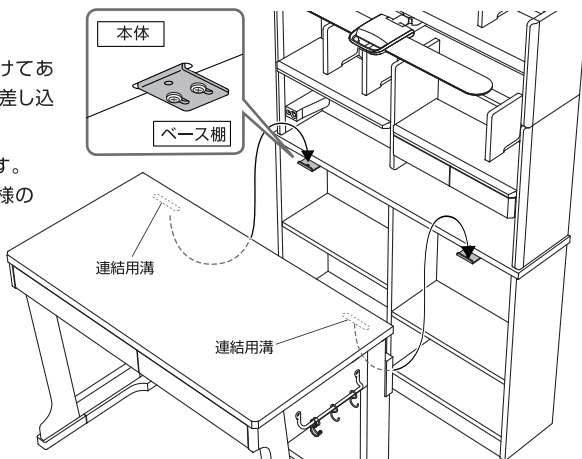
⑦ コンセントを取り付ける ……………………………… コンセントの取り付けかた→P.21

⑧ 灯具を上棚に取り付ける ……………………………… 灯具同梱の取扱説明書参照

⑨ 上棚に棚板とスライド仕切板を取り付ける ……………… 棚板･仕切板について→P.18

⑩ 本体とベース棚を連結する

机本体を少し持ち上げ、ベース棚に取り付けてある連結プレートのツバを本体の連結用溝に差し込んでください。

※イラストは天板を拡張していない場合です。
　天板を拡張してお使いいただく場合も同様のことを行ってください。

⚠注意 机と書棚は必ず連結して使用してください。書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

⑪ ワゴンを組み立てる ……………………………… ワゴンについて→P.20

ユニットスタイルAの組み立てかた

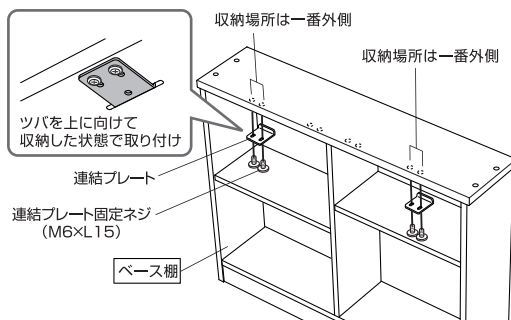
① 本体(単体)を組み立てる……………………………… 本体(単体)の組み立てかた→P.12

② ターンアップ天板を設定する……………………………… ターンアップ天板について→P.13

③ ハンギングバーを取り付ける(書棚と隣接しない方の側板)…… ハンギングバーの取り付けかた→P.12

④ ベース棚に棚板を取り付ける……………………………… 棚板・仕切板について→P.18

⑤ 連結プレートをベース棚に収納する

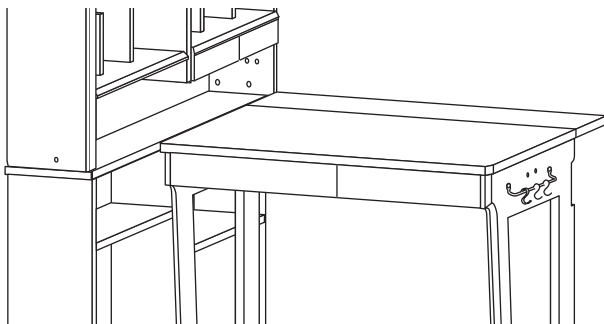
連結プレート(2ヶ)は使用しませんので、ツバを上に向けて収納した状態で連結プレート固定ネジ(2ヶ/M6×L15)で、ベース棚に取り付けてください。取付箇所は一番外側です。

⑥ ベース棚に上棚を連結する ……………………………… 書棚の分割と連結→P.16

⑦ コンセントを取り付ける ……………………………… コンセントの取り付けかた→P.21

⑧ 灯具を本体に取り付ける ……………………………… 灯具同梱の取扱説明書参照

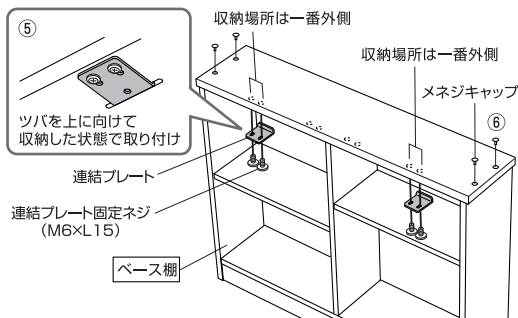
⑨ 上棚に棚板とスライド仕切板を取り付ける ……………… 棚板・仕切板について→P.18

⑩ 書棚を壁面に置き、転倒防止金具を取り付ける………… 転倒防止金具の取り付けかた→P.17

⑪ 本体にベース棚を並べて置く

⑫ ワゴンを組み立てる ……………………………… ワゴンについて→P.20

L型スタイルAの組み立てかた

⑤ 連結プレートをベース棚に収納する

連結プレート(2ヶ)は使用しませんので、ツバを上に向けて収納した状態で連結プレート固定ネジ(2ヶ/M6×L15)で、ベース棚に取り付けてください。取付箇所は一番外側です。

⑥ ベース棚にメネジキャップを取り付ける

ベース棚の天板にメネジキャップ(4ヶ)を取り付けてください。

⑦ 本体に上棚を固定する

机本体に上棚を乗せ、左右をジョイント金具で固定してください。

⑪ 本体にベース棚を並べて置く

カウンタースタイルAの組み立てかた

① 本体(単体)を組み立てる…… 本体(単体)の組み立てかた→P.12

② ターンアップ天板を設定する(拡張しての使用推奨)…… ターンアップ天板について→P.13

③ ハンギングバーを取り付ける…… ハンギングバーの取り付けかた→P.12

④ ベース棚に棚板を取り付ける…… 棚板･仕切板について→P.18

⑤ 連結プレートをベース棚に収納する…… L型スタイルAの⑤参照→P.8

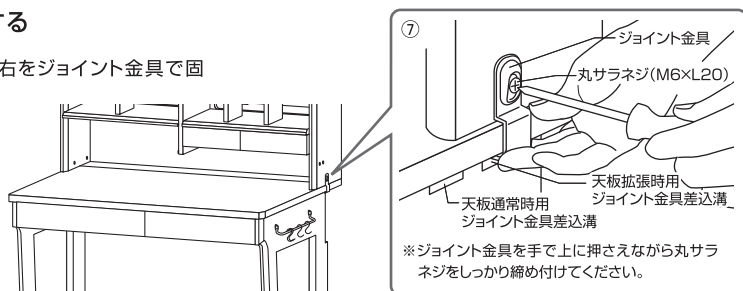
⑥ ベース棚にロー棚(またはハイ棚)を連結する…… 書棚の分割と連結→P.16

⑦ 本体にハイ棚(またはロー棚)を固定する

机本体に上棚を乗せ、左右をジョイント金具で固定してください。

L型スタイルAの⑦参照→P.8

ハイ棚

ロー棚

⑧ コンセントを取り付ける …… コンセントの取り付けかた→P.21

⑨ 灯具を上棚(本体に固定した上棚)に取り付ける…… 灯具同梱の取扱説明書参照

⑩ 上棚に棚板とスライド仕切板を取り付ける …… 棚板･仕切板について→P.18

⑪ 書棚を壁面に置き、転倒防止金具を取り付ける…… 転倒防止金具の取り付けかた→P.17

⑫ ワゴンを組み立てる …… ワゴンについて→P.20

セパレートスタイルの組み立てかた

① 本体(単体)を組み立てる…… 本体(単体)の組み立てかた→P.12

② ターンアップ天板を設定する…… ターンアップ天板について→P.13

③ ハンギングバーを取り付ける…… ハンギングバーの取り付けかた→P.12

④ ベース棚に棚板を取り付ける…… 棚板･仕切板について→P.18

⑤ 連結プレートをベース棚に収納する…… L型スタイルAの⑤参照→P.8

⑥ ベース棚に上棚を連結する …… 書棚の分割と連結→P.16

⑦ コンセントを取り付ける …… コンセントの取り付けかた→P.21

⑧ 灯具を本体に取り付ける …… 灯具同梱の取扱説明書参照

⑨ 上棚に棚板とスライド仕切板を取り付ける …… 棚板･仕切板について→P.18

⑩ 書棚を壁面に置き、転倒防止金具を取り付ける…… 転倒防止金具の取り付けかた→P.17

⑪ ワゴンを組み立てる …… ワゴンについて→P.20

ユニットスタイルBの組み立てかた

① ベース棚に棚板を取り付ける 棚板・仕切板について→P.18

② 本体（ベース棚連結）を組み立てる 本体（ベース棚連結）の組み立てかた→P.14

③ ベース棚に上棚を連結する 書棚の分割と連結→P.16

④ コンセントを取り付ける コンセントの取り付けかた→P.21

⑤ 灯具を本体に取り付ける 灯具同梱の取扱説明書参照

⑥ 上棚に棚板とスライド仕切板を取り付ける 棚板・仕切板について→P.18

⑦ ワゴンを組み立てる ワゴンについて→P.20

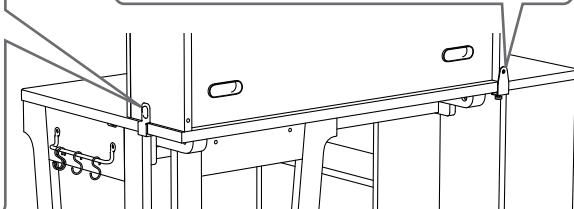
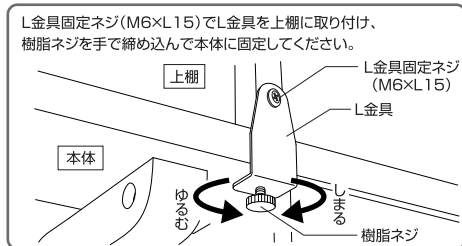
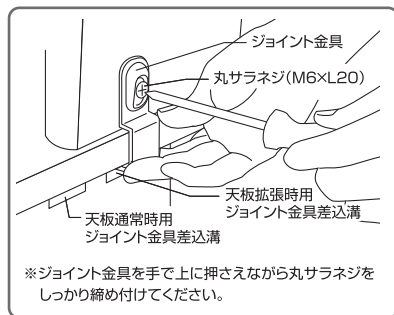
L型スタイルBの組み立てかた

① ベース棚に棚板を取り付ける 棚板・仕切板について→P.18

② 本体（ベース棚連結）を組み立てる 本体（ベース棚連結）の組み立てかた→P.14

③ ベース棚にメネジキャップを取り付ける L型スタイルAの⑥参照→P.8

④ 本体に上棚を固定する

本体に上棚をのせ、ベース棚と連結している側は背面からL金具で、反対側は側面からジョイント金具で、固定してください。

⑤ コンセントを取り付ける コンセントの取り付けかた→P.21

⑥ 灯具を上棚に取り付ける 灯具同梱の取扱説明書参照

⑦ 上棚に棚板とスライド仕切板を取り付ける 棚板・仕切板について→P.18

⑧ ワゴンを組み立てる ワゴンについて→P.20

カウンタースタイルBの組み立てかた ※ハイタイプのみ組み替え可能

① ベース棚に棚板を取り付ける 棚板・仕切板について→P.18

② 本体（ベース棚連結）を組み立てる 本体（ベース棚連結）の組み立てかた→P.14

③ ベース棚にハイ棚（またはロー棚）を連結する 書棚の分割と連結→P.16

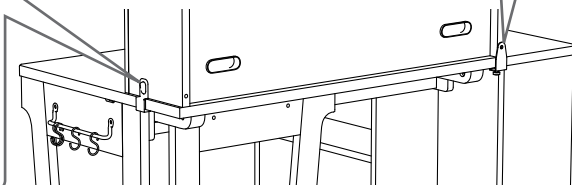
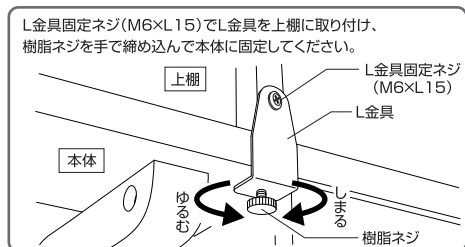
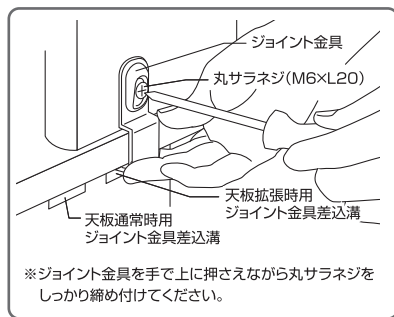
④ 本体にロー棚（またはハイ棚）を固定する

本体に上棚をのせ、ベース棚と連結している側は背面からL金具で、反対側は側面からジョイント金具で、固定してください。

ジョイント金具
丸サラネジ（M6×L20）
天板拡張時用
ジョイント金具差込溝
天板通常時用
ジョイント金具差込溝

※ジョイント金具を手で上に押さえながら丸サラネジをしっかり締め付けてください。

L金具固定ネジ（M6×L15）でL金具を上棚に取り付け、樹脂ネジを手で締め込んで本体に固定してください。

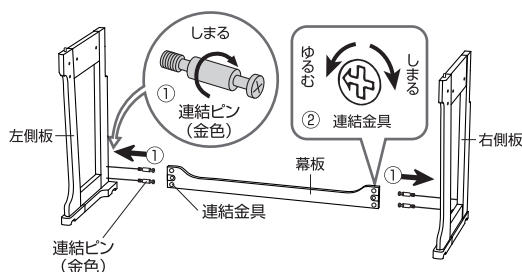
上棚
本体
L金具固定ネジ（M6×L15）
L金具
ゆるむ
しまる
樹脂ネジ

⑤ コンセントを取り付ける コンセントの取り付けかた→P.21

⑥ 灯具を上棚（本体に固定した上棚）に取り付ける 灯具同梱の取扱説明書参照

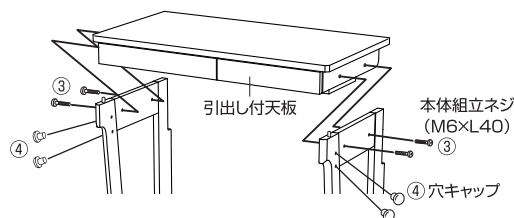
⑦ 上棚に棚板とスライド仕切板を取り付ける 棚板・仕切板について→P.18

⑧ ワゴンを組み立てる ワゴンについて→P.20

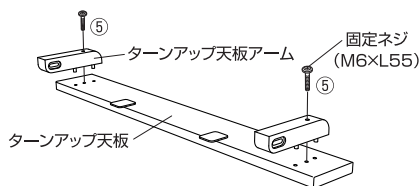
本体(単体)の組み立てかた

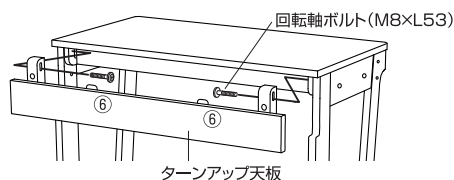
対象:フロントスタイル、ユニットスタイルA、L型スタイルA
カウンタースタイルA、セパレートスタイル

左右の側板と幕板を固定

① 左右の側板に連結ピン(各2ヶ/金色)を取り付けてください。

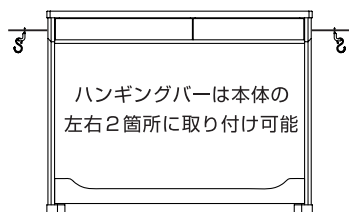
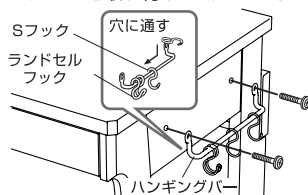
② 幕板の連結金具の矢印が外側を向いているか確認してから、連結ピンを幕板のピン穴に差しこみ、連結金具を「しまる」の方向にしっかりと締め込んでください。

引出し付天板を固定する

③ 側板の外側から本体組立ネジ(4ヶ/M6×L40)で天板を組み付けます。

④ 側板の穴に、穴キャップ(4ヶ)を取り付けてください。

ターンアップ天板を組み立てる

⑤ ターンアップ天板アームを固定ネジ(2ヶ/M6×L55)でターンアップ天板に取り付けてください。

ターンアップ天板を取り付ける

⑥ ターンアップ天板を回転軸ボルト(2ヶ/M8×L53)で天板後方に取り付けてください。

ハンギングバーの取り付けかた

ターンアップ天板について

天板を拡張する場合

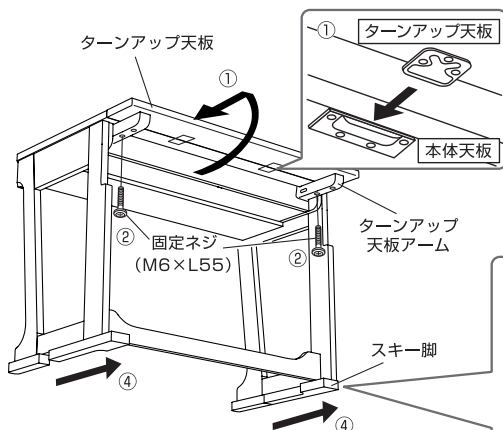
ターンアップ天板を固定する

① ターンアップ天板を持ち上げ、ターンアップ天板に付いている金具を、本体に付いている金具に差し込んでください。

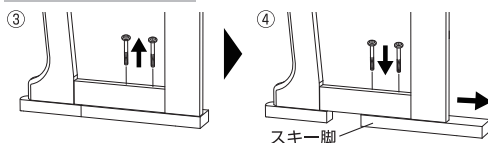
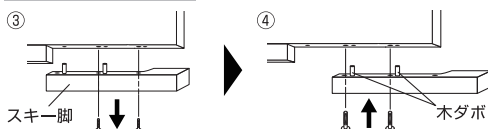
② ターンアップ天板アームを本体天板に固定ネジ（2ヶ/M6×L55）で固定してください。

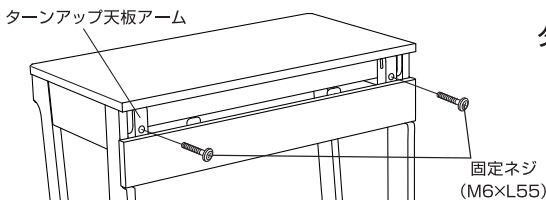
※機種によりスキー脚の付け替えかたが異なります。

側板がオープンの場合

側板がクローズの場合

スキー脚を付け替える

③ 左右のスキー脚を固定しているネジ（各2ヶ）を取り外してください。

④ スキー脚を後ろにずらし木ダボで位置を合わせ③で取り外したネジ（各2ヶ）で固定してください。

※ユニットスタイルB、L型スタイルB、カウンタースタイルBの場合は、スキー脚の付け替えは不要です。

天板を拡張しない場合

ターンアップ天板を固定する

天板を拡張しないときはターンアップ天板を下げたまま､ターンアップ天板アームを固定ネジ（2ヶ/M6×L55）で後方から固定してください。

⚠警告 ターンアップ天板の上にのったり､60kg(等分布荷重）を超える物をのせないでください。
デスクが破損したり転倒してケガをすることがあります。

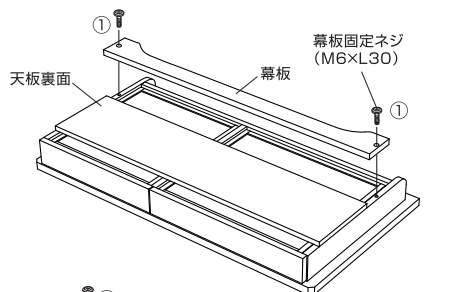
⚠警告 ターンアップ天板をご使用になる場合は、付属のネジにてしっかりと固定してください。
天板が破損、落下してケガをすることがあります。

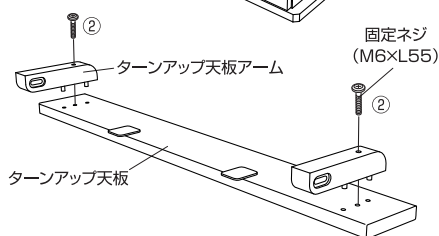
⚠警告 ターンアップ天板を操作する時は、すき間に指を入れないでください。
挟んでケガをすることがあります。

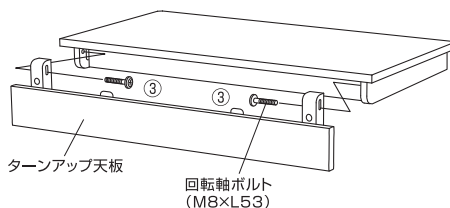
⚠警告 ターンアップ天板をご使用になる場合は､足元のスキー脚を必ず後方に付け替えてご使用ください。
デスクが転倒してケガをすることがあります。
※ユニットスタイルB、Ｌ型スタイルＢ、カウンタースタイルＢは除く。

本体(ベース棚連結)の組み立てかた

対象:ユニットスタイルB、L型スタイルB
カウンタースタイルB

本体天板の拡張はお好みでお選びください。また、書棚は机本体の左右どちらにでも取り付けることができます。
ここでは、本体の天板を拡張し、書棚を机に向かって左側に取り付ける形でご説明しております。

幕板を天板裏面に取り付ける

① 幕板を幕板固定ネジ(2ヶ/M6×L30)で、天板裏面に取り付けてください。

ターンアップ天板を組み立てる

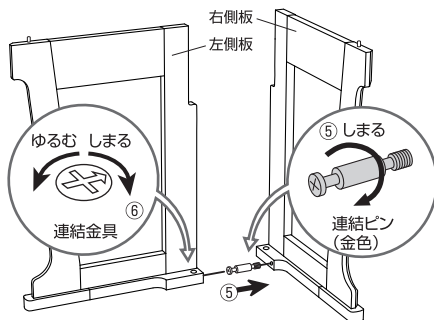
② ターンアップ天板アームを固定ネジ(2ヶ/M6×L55)でターンアップ天板に取り付けてください。

ターンアップ天板を取り付ける

③ ターンアップ天板を回転軸ボルト(2ヶ/M8×L53)で天板後方に取り付けてください。

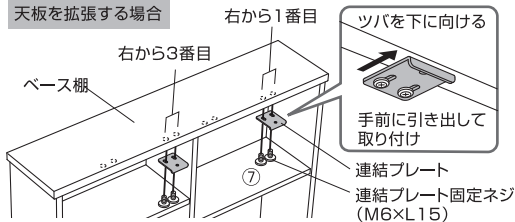
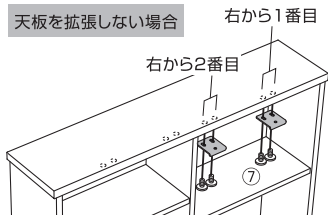
ターンアップ天板を設定する

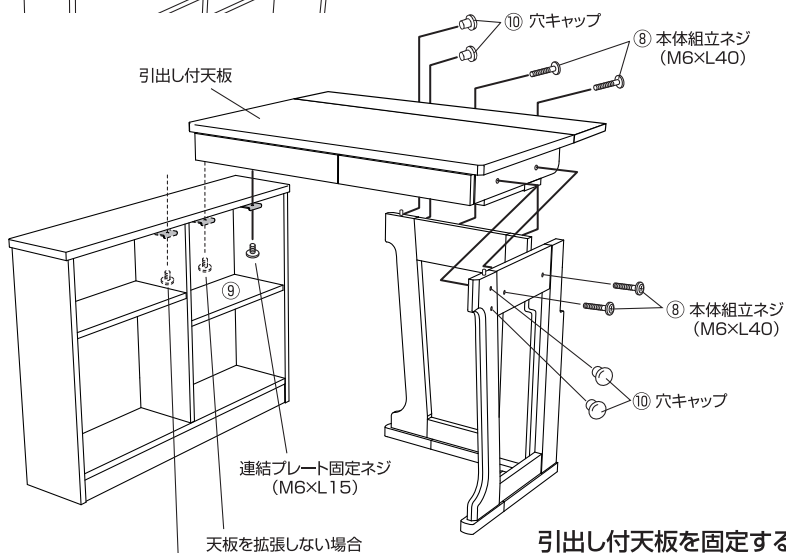
④ 使用目的、部屋のレイアウトに合わせて設定してください。(L型スタイルB、カウンタースタイルBは天板を拡張しての使用推奨)

※【本体(ベース棚連結)】の場合は、天板を拡張しても、スキー脚の付け替えは必要ありません。

ターンアップ天板について→P.13

側板をL字連結する

⑤ 右側板スキー脚に、連結ピン(1ヶ/金色)を取り付けてください。

⑥ 左側板スキー脚にある連結金具の矢印が外側を向いているか確認してから、連結ピンをピン穴に差しこみ、連結金具を「しまる」の方向にしっかりと締め込んでください。

連結プレートをベース棚に取り付ける

⑦ 連結プレート（2ヶ）を連結プレート固定ネジ（4ヶ/M6×L15）で、ベース棚に取り付けてください。この時、ツバを下に向けて連結プレートを手前に引き出した状態で取り付けてください。
取付箇所は、『天板を拡張する時は右から1番目と3番目』です。『天板を拡張しない時は右から1番目と2番目』です。

引出し付天板を固定する

⑧ 側面と後方から本体組立ネジ(4ヶ/M6×L40)で天板を組み付けます。

⑨ 連結プレート固定ネジ(各1ヶ/M6×L15)で天板とベース棚を固定してください。

⑩ 左右側板の穴に、穴キャップ(各2ヶ)を取り付けてください。

ハンギングバーを取り付ける

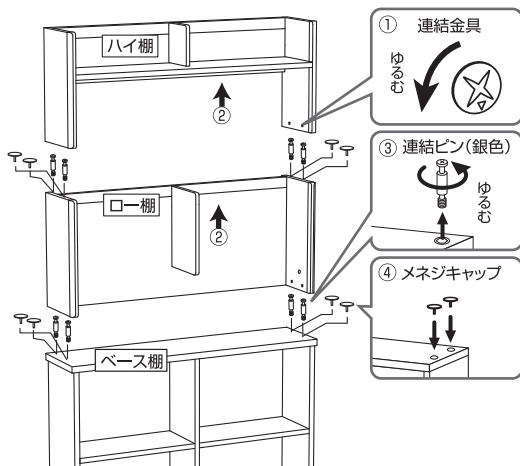
⑪ 書棚と連結していない側にハンギングバーを取り付けてください。

ハンギングバーの取り付けかた→P.12

机とベース棚は必ず連結して使用してください。
本体･書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

書棚の分割と連結

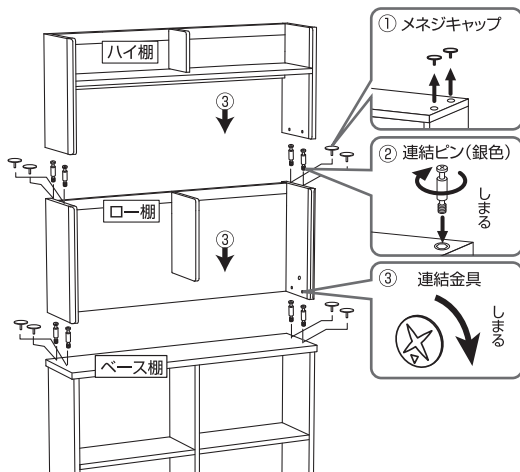
分割のしかた

※書棚は、ハイタイプで3分割、ロータイプで2分割することができます。

① 分割したい位置の、左右側板内側にある連結金具(4ヶ)の矢印を下に向けてください。

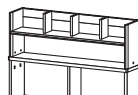
② 分割したい位置の棚を、鉛直に持ち上げてください。

③ 連結ピン(4ヶ/銀色)を取り外してください。

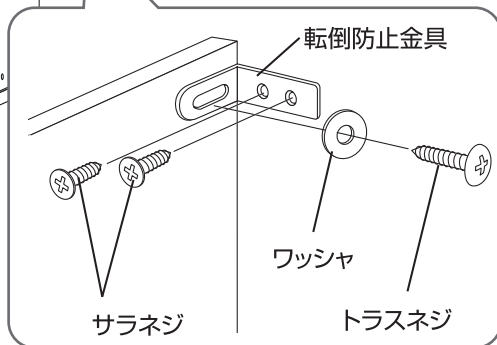
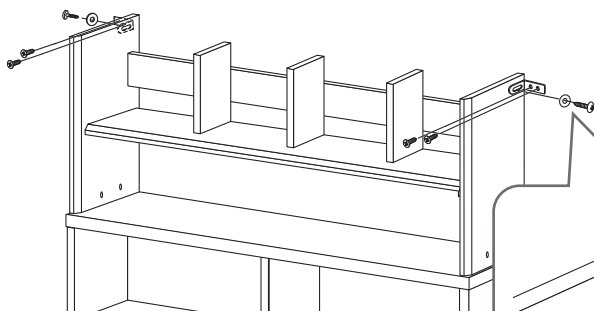
④ メネジにメネジキャップ(4ヶ)をはめてください。

連結のしかた

① ロー棚の側板上面、ベース棚上面にメネジキャップ(4ヶ)が付いている場合は取り外してください。

② 連結ピン(4ヶ/銀色)を取り付けてください。

③ 左右側板の内側にある連結金具の矢印が、下を向いていることを確認して、連結ピンを左右側板の下面にあるピン穴に差し込み、連結金具を締め込んでください。

ハイタイプの場合、ベース棚の上にハイ棚を設置することが可能です。

⚠注意 必ず2人で作業してください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

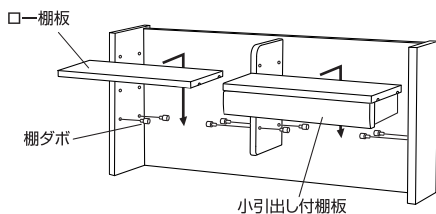
転倒防止金具の取り付けかた

① 書棚を壁面につけて設置してください。

② 書棚側板のできるだけ高い位置に、転倒防止金具を取り付けてください。

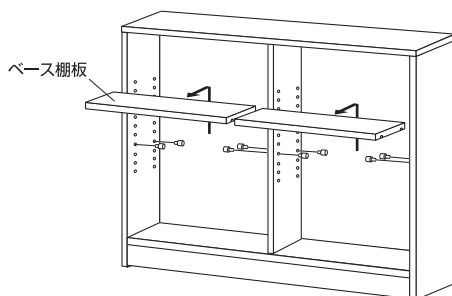
書棚は部屋の真ん中には設置せず、壁や柱に転倒防止用金具で固定してください。
書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

転倒防止金具は、必ず壁の芯材がある部分に取り付けてください。
書棚の転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

棚板・仕切板について

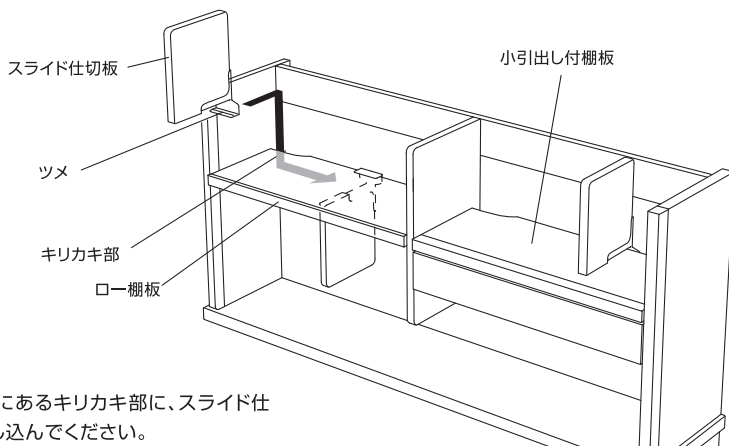
ロー棚板・ベース棚板の取り付けかた・取り外しかた

取り付けかた

① 棚ダボ（4ヶ）を任意の高さのダボ穴に取り付けてください。

② ロー棚板、ベース棚板を棚ダボの上にのせてください。

取り外しかた

① ロー棚板、ベース棚板を上にゆっくりと持ち上げてください。

② 棚ダボ（4ヶ）を取り外してください

スライド仕切板の取り付けかた

① ロー棚板の左右にあるキリカキ部に、スライド仕切板のツメを差し込んでください。

② そのままゆっくりと横方向にスライドさせて、お好みの位置でご使用ください。

ハイ棚板の高さ調整のしかた

※ハイタイプのみ組み替え可能

ハイ棚の棚板(ハイ棚板)は、高さを2段階で調整できます(以下説明文中:上段・下段)。
ここでは、開梱した状態から、ハイ棚板高さを下段から上段に付け替える形でご説明しております。
上段に付け替えることで、カウンタースタイル時にハイ棚板下にA4サイズを収納することができます。

ハイ棚とロー棚を分割する…… 書棚の分割と連結→P.16

① ハイ棚板の高さ調整を行う前に、ハイ棚とロー棚を分割してください。

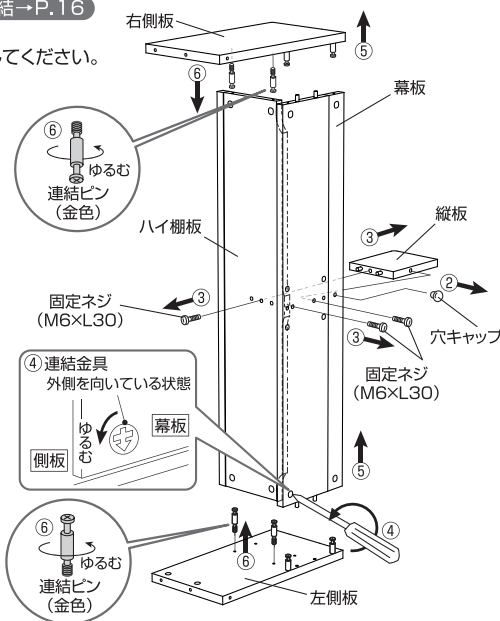
ハイ棚を分解する

※ 右図のように横にした状態で分解してください。
② 幕板背面に付いている穴キャップ(1ヶ)を取り外してください。

③ ハイ棚板、幕板、縦板を固定している固定ネジ(3ヶ/M6×L30)をプラスドライバーで取り外し、縦板を取り外してください。

④ ハイ棚板、幕板の各連結金具の矢印が外側を向くように各連結金具をプラスドライバーでゆるめてください。

⑤ ハイ棚板、幕板、左右側板を分解してください。

右側板
⑤
⑥
幕板
⑥
ゆるむ
連結ピン
(金色)
ハイ棚板
縦板
③
②
固定ネジ
(M6×L30)
③
③
穴キャップ
④連結金具
外側を向いている状態
ゆるむ
幕板
側板
固定ネジ
(M6×L30)
⑤
④
⑥
ゆるむ
連結ピン
(金色)
⑥
左側板

左右側板の連結ピンを付け替える

⑥ 左右側板に取り付けてある連結ピン(4ヶ)を取り外してください。

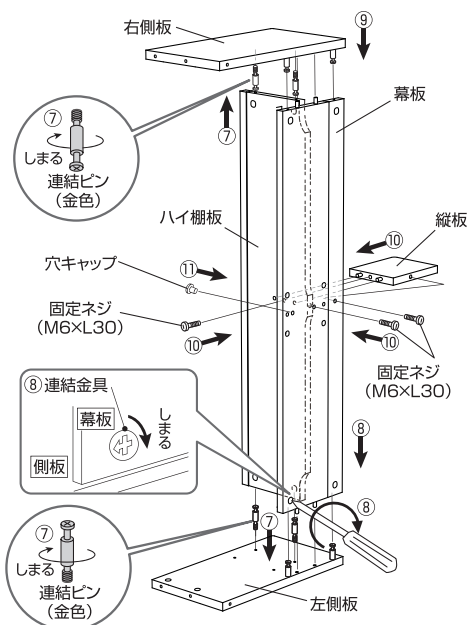
⑦ ⑥で取り外した連結ピン(4ヶ)を上段の高さのメネジに取り付けてください。

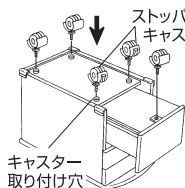
ハイ棚を組み立てる

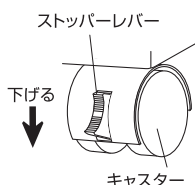
※ 右図の様に横にした状態で組み立ててください。
⑧ 左右どちらかの側板にハイ棚板と幕板を取り付けます。幕板の木ダボを側板の穴に、各連結ピンを各連結金具に差し込み、各連結金具をプラスドライバーで締め込んでください。

⑨ もう一方の側板を⑧と同様に組み付けてください。

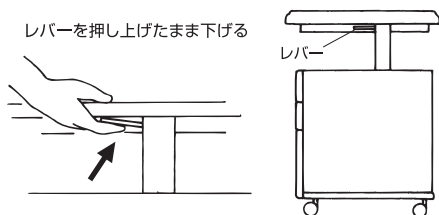
⑩ 縦板の木ダボをハイ棚板のダボ穴に差し込み、③で取り外した固定ネジ(3ヶ/M6×L30)でハイ棚板、幕板、縦板を固定してください。
※ ハイ棚板を上段に取り付けた場合、縦板はハイ棚板の上下両方向に取り付けることができます。

⑪ ②で取り外した穴キャップを幕板の穴に取り付けてください。

ワゴンについて

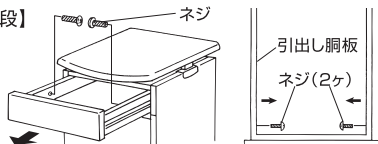
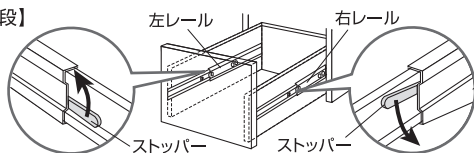
キャスターの取り付けかた

ワゴン底板と下段引出しのキャスター取り付け穴にキャスターの支軸を強く押し込んでください。
ストッパー付キャスター（2ヶ）は図の様にワゴン底板の前側に取り付けてください。

ストッパー付キャスターのロックのしかた

移動を止めたい時は、ワゴン前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。
※移動する時はストッパーを解除してください。ロックしたまま移動させると、キャスター破損の原因になります。

天板高さの調節のしかた

※天板高さが調節できない機種もあります。

※ワゴン天板上には70kgまでの物を置くことができます。

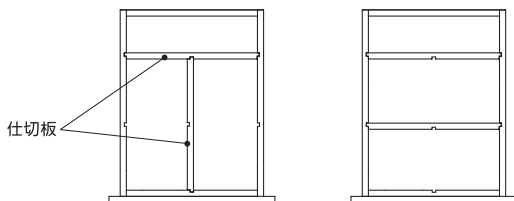
天板をお好みの高さに調節して、補助天板として使用できます。
【天板を上げる時】
両手で天板を持ってゆっくりと上げてください。
【天板を下げる時】
両端のレバーを押し上げるとロックが解除され、下げる事ができます。天板を少し持ち上げるようにしてから、ゆっくりと下げてください。レバーから手を離すと再びロックがかかり、天板高さは固定されます。

引出しの取り外しかた

【上・中段】
引出し胴板内側のネジを外すと、引出しは取り外せます。
【下段】
引出しをいっぱいまで引き出し、右レールのストッパーを下方向に倒し、左レールのストッパーを上方向に倒して引出しを引き抜いてください。
（本体引出しも、同様に取り外すことができます）
※引出しが固い場合には、全ての引出しを一度最後まで引き出してからご使用ください。引出しがスムーズに動くようになる場合があります。

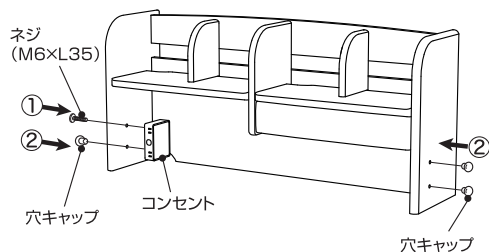
錠前の使いかた

カギを差し込んで時計回りに180°回すと施錠され、反時計回りに回すと開錠されます。

ワゴン下段の仕切板について

ワゴンの下段引出しは、仕切板（2ヶ）を付け替えて下図のように区分けできます。

コンセントの取り付けかた

コンセントの取り付けかた

コンセントは、ロー棚の左右側板の内外、本体の左右側板に取り付けることができます。

ロー棚への取り付けかた

① コンセントのネジダボを側板内面(外面)の受け穴に差し込み、側板の外側(内側)からネジ(1ヶ/M6×L35)で組み付けてください。

※上棚に取り付ける場合は、移動コンセントのネジダボが下になるように付け替えてから、組み付けてください。

② コンセントの付いていない方の側板外面に、穴キャップ2ヶを取り付けてください。コンセントを内側に取り付けた場合は、ネジの下側の穴にも穴キャップ(1ヶ)を取り付けてください。

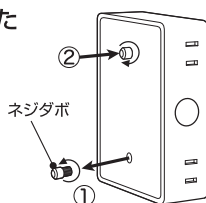
※穴キャップを側板の内面に付けると、ロー棚の使用に支障をきたす場合がありますので、取り付けないでください。

※デスク本体に上棚を設置する場合、一部穴キャップの取り付けができない場合があります。

ネジダボの付け替えかた

①移動コンセントに付いているネジダボを反時計回りに回して取り外してください。

②もう一方のメネジにネジダボを時計回りに回して取り付けてください。

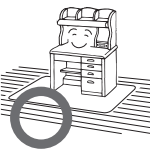
①
②
穴キャップ
ネジ
(M6×L35)

机本体への取り付けかた

① コンセントを取り付ける本体側板を左右どちらか選び、穴キャップ(2ヶ)を取り外してください。

② コンセントのネジダボを側板の受け穴に差し込み、側板内面からネジ(M6×L35)で組み付けてください。

※デスクに取り付ける場合は、移動コンセントのネジダボが上になるように付け替えてから、組み付けてください。

●コンセントの差し込み口に金属物を差し込んだり、濡れた手で触らないでください。

故障かな?と思ったら

こんな時は ⟶	こう処置してください
ハイ棚·ロー棚がグラグラする	【書棚としてお使いの場合】 ●上棚の連結金具(P16参照)をドライバーで右方向に回して締め込んでください。 【天板の上に設置してお使いの場合】 ●本体と上棚を固定しているジョイント金具·L金具に使用しているネジ(P10参照)を均等に締め込んでください。
書棚がグラグラする	【本体に連結してお使いの場合】 ●連結プレートを固定している連結プレート固定ネジ(P6、P15参照)を締め込んでください。 【書棚を独立してお使いの場合】 ●転倒防止金具を固定しているネジ(P17参照)を締め込んでください。
机がグラグラする	●幕板の連結金具(P12参照)をドライバーで右方向に回して締め込んでください。 ●左右側板と天板を組み付けているネジ(P12参照)を締め込んでください。
引出しの出し入れが固い	●全ての引出しを一度最後まで引き出してからご使用ください。スムーズに動く場合があります。 ●引出し胴板のネジ(P20参照)が外れていないか確認してください。 外れている場合は組み付けてください。
灯具が点灯したり消灯したりする	●電源プラグが緩んでないか、確認してください。
灯具が点灯しない	●スイッチをOFFにし、5秒以上放置した後で再度スイッチをONにしてください。
コンセントのスイッチを押しても点灯しない	●コンセントのスイッチをONにし、灯具のスイッチがOFFになっていないか確認してください。 ●コンセントのブレーカー(灯具同梱の取扱説明書参照)が作動していないか、確認してください。 作動していれば、通電状態に戻してください。 ●次の要領で接続箇所を確認してください。 1. コンセントのスイッチをOFFにします。 2. コンセントの電源コードプラグが、ご家庭のコンセントに差し込まれているか確認してください。 3. 灯具電源プラグが、コンセント背面の照明器具専用差し込み口(灯具同梱の取扱説明書参照)に差し込まれているか確認してください。 4. コンセントのスイッチをONにし、点灯するか確認してください。

次ページへ続く ⟶

コンセントのスイッチを押しても点灯しない	●以上の動作を行っても点灯しない時は、灯具の電源コードプラグをご家庭のコンセントに直接差し込んで灯具のスイッチをONにしてください。 点灯すればコンセントに問題がある可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください ⚠警告 ●ブレーカーの操作は電源コードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。感電することがあります。
コンセントに電気製品のコードプラグを差し込んでも電気が通じない	●コンセントの電源コードプラグが抜けていないか確認してください。 ●コンセントのブレーカー(灯具同梱の取扱説明書参照)が作動していないか、確認してください。作動していれば、通電状態に戻してください。 ⚠警告 ●ブレーカーの操作はコンセントの電源コードプラグをコンセントから抜いて行ってください。感電することがあります。

※以上の処置をしても直らない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご使用上の注意

水平に設置してください。引出しが固くなったり、ひずみの原因になります。

天板にヤカンや熱いものをのせないでください。白化や変色の原因になります。

フローリングや畳の上でご使用になる場合はカーペット等を敷いてください。床や畳等に傷がつくことがあります。

直射日光があたる場所でのご使用は避けてください。変形や変色の原因になります。

殺虫剤等を吹きつけないでください。変色や変質の原因になります。

お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。シンナー、ベンジンや化学ぞうきん等は使用しないでください。変色や変質の原因になります。

シール・セロテープ等を貼りつけないでください。表面がはがれることがあります。

湿気の多い場所には設置しないでください。カビ発生の原因になります。

居室の換気はこまめに行ってください。シックハウス症の原因になることがあります。

イトーキ学習机保証書

品　　名		おなまえ		
おところ		保証期間	1年	外観・表面仕上(塗装及び樹脂部分の変・褪色、クロスの摩耗)
お買い上げ日	年　月　日		2年	機構部・可動部(引出し、スライド機構、錠前、昇降機構の故障)
品　　番			3年	構造体(強度・構造体に関わる破損)

■ご注意
保証書に所定事項の記入がない場合は本証とともに、お買い求め先の領収書を保存してください。
サービスマンがご訪問の節は必ずご提示ください。

保証規定

保証期間内、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。修理はお買い上げの販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

【イ】お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障
【ロ】取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
【ハ】消耗部品の消耗又はそれによる故障
【ニ】火災・塩害・異常電圧・地震・雷・風水害・その他天災地変などによる故障
【ホ】お買い求めの販売店もしくは当社以外での修理改造等による故障
【ヘ】離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
【ト】追加部品(鍵・棚・フック・引き手等)又は、お客様破損による追加部材等のご要望は有償となります。
【チ】保証書の提示がない場合

- ●運賃等の諸費用はお客様にご負担していただく場合があります。
- ●本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ●本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
- ●ご使用前に取扱説明書をご一読ください。
- ●補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年間です。

株式会社イトーキ
〒536-0002
大阪市城東区今福東1-4-12

販売店

- ●天然木について:展示品とお届け品では多少木目柄や色が異なる場合があります。
- ●カギについて:機種により共通のタイプもある為、盗難の保証はいたしかねます。
  以上のことについてあらかじめご了承ください。

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

株式会社イトーキ　〒536-0002 大阪市城東区今福東1丁目-4-12

お客様相談センター　0120-164177
東日本地区　〒169-0074　東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー19階 ☎03(6908)8050(代)
西日本地区　〒536-0002　大阪市城東区今福東1-4-12　☎06(6935)2009(代)

15.5.1⑤